

第三回 全国日本語川柳大賽（総評と選考結果）

（一社）全日本川柳協会副理事長 江畑哲男

三たびお目にかかれました。

第三回の全国川柳大賽のご盛会、誠におめでとうございます。

開催に当たってご奮闘いただいた沈美雪先生（本大会実行委員長）をはじめ、関係者の皆さまのご尽力に心より感謝申し上げます。一般社団法人・全日本川柳協会としても、江畑哲男個人としても御礼申し上げる次第です。有難うございます。

さて、今回も素晴らしい作品をお寄せいただきましたね。というより、前二回をしのぐ、一段とレベルの高い作品が多くなりました。そう感じながら選考でした。日本語力も川柳力もレベルアップしたなと思いながら、皆さんの作品と向き合うことが出来たのです。

そこで、以下に入選作品と若干の選評を添えておきましょう。

宿題「恋」

☆第一席 恋心夜の星さえ甘くなる

迷わず、第一席に推しました。作者はかなりのロマンチストのようですね。「夜の星さえ甘くなる」という卓越した表現に感服しました。さらには、「夜の星さえ」の「さえ」。この副助詞が効果を高めています。日本語力も川柳力も抜群の秀逸句でした。

☆第二席 これが恋？同じ歩幅の帰り道

この句も素晴らしい。「同じ歩幅の帰り道」という発見と感動が、選者の心に響きました。中七・下五が流れるように叙述されております。加えて、上五の「これが恋？」。自問自答の問いかけがぴたりと嵌っています。

☆第三席 頬染めて人に言えない恋をする

大人の作品です。大人になりかけた頃の作品かも知れません。そうなのです。恋というのは、軽々しく口にできない場合もあるのです。子ども時代とは違うのです。内に秘めながら、頬を染める恋。そんな初々しい葛藤を素直に吐露した佳句でした。

入選 恋をしてスマホばかりを見てしまう

つつい「スマホ」を見てしまいますよね。恋する相手からの通信を心待ちにしながら。

入選 現実じゃ一目惚れなど都市伝説

「都市伝説」なのでしょうか？ 「現実じゃ一目惚れ」などは起こらない、とは作者の弁です。

入選 恋焦がれ待つは君より給料日

ユーモア句。たしかに「君」も大事ですが、「給料日」にも恋い焦がれますよね。えっ？、給料日の方が大事ですって？（笑）。

入選 服選ぶように彼氏も決めたら

「服選ぶように」という比喻が微笑ましい。「決めたら」の「ら抜き」も、昨今ではまあ許される表現でしょう。

入選 AIが相談役のラブレター

AIを登場させました。AIなら相談できそうと、現代的な一句に仕立ててくれました。

宿題「オアシス」

☆第一席 深き夜アニメに浸る一人部屋

「深き夜」という措辞には正直言って驚きました。感動いたしました。その後、作者は「アニメに浸る一人部屋」と続けています。一人部屋のこの瞬間がオアシスなのでしょう。現代に生きる人間の孤独に鋭く切り込んだ秀句になっています。

☆第二席 ほっと一息書類の山が消え去って

「ほっと一息」に実感がこもっております。字余りになっていますが、安堵感がよく伝わってきました。安堵の理由が中七・下五。「書類の山が消え去って」と、いわゆる連用中止形で止めたところにも「ほっと一息」の余韻が感じられますよね。

☆第三席 彩りのアイスで君とはんぶんこ

幸せのツーショット。絵に描いたような構図を思い浮かべました。ほっこりしてきました。「アイスで君とはんぶんこ」だなんて、羨ましい限り。そしてそのアイスは、「彩りのアイス」。彩りのアイスには幸せのオーラが漂っております。

入選 テスト終えスマホひらけば別世界

「別世界」がお手柄でしたね。テスト終了後に、その別世界へと向かうのでしょうか。

入選 七時過ぎオアシスと化す値引き棚

生活感あふれる一句。ふだんの生活の、現実感あふれるオアシスを作者は詠んでいます。

入選 オアシスは給湯室だけこの会社

ブラックユーモアめいた1句。仕事場は戦場、給湯室だけがオアシス、と主張する作者がいます。

入選 炎天下コンビニまるで我が家かな

折しも炎天下。猛暑の最中にコンビニに飛びこみました。「まるで我が家」のようだ、という安らぎを感じたのです。

入選 帰り道我が家に灯る温かさ

情緒的な作品。我が家がオアシス。我が家に灯る、我が家ならではの温かさを感じながらの帰り道でした。